

再評価結果（令和2年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・技術課

担当課長名：奥村 康博

事業名	道央圏連絡道路（一般国道337号） 中樹林道路		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 北海道開発局
起終点	自：北海道空知郡南幌町南15線西 至：北海道江別市江別太				延長	7.3km
事業概要	<p>道央圏連絡道路は、千歳市を起点とし、小樽市に至る延長約80kmの地域高規格道路である。</p> <p>中樹林道路は、北海道縦貫自動車道江別東ICと接続し、高速ネットワークの拡充による札幌圏の連絡機能の強化を図り、地域間交流の活性化及び拠点空港新千歳空港、国際拠点港湾苫小牧港等への物流効率化等の支援を目的とした南幌ランプから江別東ICに至る延長7.3kmの事業である。</p>					
H21年度事業化	H-年度都市計画決定 (H-年度変更)		H25年度用地補償着手		H25年度工事着手	
全体事業費	約294億円	事業進捗率 (平成31年3月末時点)	約58%	供用済延長	0.0km	
計画交通量	14,300台/日					
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 1.3 (残事業) 2.4	総費用 (残事業)/(事業全体) 166/314億円 (事業費：129/276億円) 維持管理費：37/37億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 396/396億円 (走行時間短縮便益：309/309億円) (走行経費減少便益：76/76億円) (交通事故減少便益：11/11億円)	基準年 令和元年		
感度分析の結果	事業全体及び残事業について感度分析を実施					
	【事業全体】交通量：B/C=1.1～1.4（交通量±10%） 事業費：B/C=1.2～1.3（事業費±10%） 事業期間：B/C=1.2～1.3（事業期間±20%）		【残事業】交通量：B/C=2.1～2.7（交通量±10%） 事業費：B/C=2.2～2.6（事業費±10%） 事業期間：B/C=2.3～2.5（事業期間±20%）			
事業の効果等	事業の必要性及び効果					
	<p>①農産品の流通利便性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全道各地と石狩湾新港地域、新千歳空港、苫小牧港等の物流拠点間の交通ネットワークが形成され、農産品等の流通利便性向上が期待される。</li> </ul> <p>②物流拠点の利便性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>石狩湾新港地域と苫小牧港間の交通ネットワークが形成され、循環資源等の物流輸送の利便性向上が期待される。</li> </ul> <p>③水産品の流通利便性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>速達性及び定時性の高い輸送ルートが確保され、水産品の流通利便性向上が期待される。</li> </ul> <p>④道路交通の安全性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現道の通過車両転換から、交通の円滑化によるドライバー負担軽減、大型車交通量減少による大型車事故の減少が見込まれ、道路交通及び周辺住民の安全性向上が期待される。</li> </ul> <p>⑤冬期間走行環境の安全性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地吹雪や吹雪発生時においても走行可能な視認性が確保され、冬期走行環境の安全性向上が期待される。</li> </ul>					
関係する地方公共団体等の意見	<p>地域から頂いた主な意見等：</p> <p>江別市など5市3町の首長等で構成される「道央圏連絡道路整備促進期成会」等から整備促進の要望を受けている。</p>					

知事の意見：

北海道縦貫自動車道江別東ICと接続し、高速ネットワークの拡充による札幌圏の連絡機能の強化を図り、地域間交流の活性化及び、拠点空港新千歳空港、国際拠点港湾苫小牧港へのアクセス強化による物流の効率化とともに、道路交通の安全性向上等が図られ、道民生活の向上や経済・社会活動の活性化に寄与することから、当該事業の継続について異議はありません。

なお、事業の実施にあたっては、平成19年12月25日付け環政第1171号「地域高規格道路道央圏連絡道路長沼町～江別市間環境影響評価準備書について」における知事意見を遵守すること。また、より一層の徹底したコスト縮減を図るとともに、これまで以上に効率的・効果的な執行に努め、早期供用を図るようお願いいたします。

事業評価監視委員会の意見

当委員会に提出された再評価原案準備書の対応方針については、北海道開発局案を妥当と判断する。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- ・道央圏連絡道路 新千歳空港ランプ～中央ランプ間、豊栄ランプ～蕨岱ランプ間開通
- ・北海道横断自動車道 夕張IC～占冠IC間開通
- ・北海道縦貫自動車道 新千歳空港IC開通
- ・当別バイパス全線開通
- ・石狩湾新港 石狩LNG基地運転開始
- ・北欧の風道の駅とうべつ開業
- ・新千歳空港 国際線ターミナル前エプロン拡張部暫定供用
- ・石狩湾新港発電所（LNG火力発電所）運転開始

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成25年度に工事着手して、用地進捗率約96%、事業進捗率約58%となっている。（平成31年3月末時点）

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

軟弱地盤対策工及び土工計画の見直しによる変更。  
引き続き、早期開通に向けて事業を進める。

施設の構造や工法の変更等

軟弱地盤対策工及び土工計画の見直しによる変更。  
引き続きコスト縮減に取り組んでいく。

対応方針

事業継続

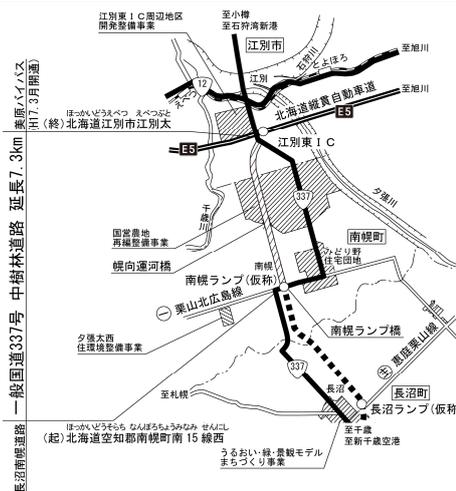
対応方針決定の理由

事業の必要性・重要性に変化はなく、費用対効果等の投資効果も確保されているため。

事業概要図



凡 例	
	開 通 区 間
	事 業 中
	再 評 価 区 間



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。  
※ 費用対効果分析結果及び感度分析の結果の欄に係る数値は令和元年度評価時点。